

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 6 月 28 日(2024.6.28)

【公開番号】特開 2023-15691(P2023-15691A)
【公開日】令和 5 年 2 月 1 日(2023.2.1)
【年通号数】公開公報(特許)2023-020
【出願番号】特願 2021-119616(P2021-119616)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 63 F 7/02 320

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 6 月 20 日(2024.6.20)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

始動口に入球した際に乱数値を抽出し、該抽出した乱数値を所定個数まで記憶可能な抽出乱数値記憶手段と、

該記憶された乱数値に基づいて当否の判定を行う当否判定手段と、

該判定が行われることに基づいて、特別図柄の変動を行った後、該判定の結果を確定表示する特別図柄表示装置と、を備え、

該特別図柄の変動に対応して、演出表示装置で疑似演出を実行可能な遊技機であって、

前記演出表示装置に出現可能な保留図柄表示領域に前記抽出した乱数値に対応する保留図柄が表示され、前記抽出乱数値記憶手段に記憶された乱数値に関して前記判定が行われる度に、該判定が行われる乱数値に対応した保留図柄が前記保留図柄表示領域から消去されると共に、前記演出表示装置に出現可能な変動中図柄表示領域に変動中図柄が表示され、

30

前記保留図柄及び前記変動中図柄として、其々、期待度が異なる複数の表示形態を表示可能とされ、前記判定が行われた際に前記変動中図柄表示領域に表示される変動中図柄の表示形態は、当該判定が行われた際に消去された保留図柄の表示形態に関連付けられたものであり、

前記疑似演出として、視覚的に演出内容を特定可能な演出特定要素の相違に基づき、分類される複数の種類が存在し、

前記変動中図柄は、遅くとも変動中の特別図柄が確定表示されるまでに消去され、

40

所定の疑似演出において、当該疑似演出の開始から変動中図柄が消去されるまでの時間が T1 時間となる場合と、該 T1 時間よりも長い T2 時間となる場合と、があり、当該所定の疑似演出において、消去される直前の変動中図柄の表示形態が同じ表示形態であっても当該疑似演出の開始から変動中図柄が消去されるまでの時間が、前記 T1 時間か前記 T2 時間かで前記判定で当選となる確率を異ならせ、

前記所定の疑似演出以外の疑似演出においては、前記 T1 時間または前記 T2 時間と異なる T3 時間で前記変動中図柄を消去する
ことを特徴とする遊技機。

50